

能登町区長会連合会来訪

平成27年5月19日(火)13時30分～15時

能登町と流山市は古くから酒造りで交流があり、平成24年に姉妹都市協定が締結されました。今回は交流の一環として連合会山本会長以下34名が自治会活動の研修に来訪されました。流山市からは海老原議員、須郷コミュニティ課長、江戸川大学廣田准教授また能登出身で元流山議員の東畑さん(流山在住)等出席していただきました。

両会長の挨拶に引き続き、松島名誉会長から美田自治会のプロフィールと防犯、防災活動について杉浦さんから環境、福祉、親睦、快援隊の活動等についてスライドで説明を行いました。最後に同行の能登町総務課本井氏より御礼の言葉があり和やかな交流の場となりました。

(元川)



※ 能登町 10年ほど前に能都町、柳田村、内浦町が合併し人口2万人、面積273km²の能登町が誕生、漁業農業が盛んで特に農業は2011年に「能登の里山里海」が日本初の世界農業遺産に認定された。
(酒造り) 能登杜氏は南部、越後、但馬に並ぶ日本四大杜氏のひとつ、江戸時代から「能登衆」と呼ばれ独自の酒造り文化を継承してきた。この地で育った能登杜氏は全国各地の蔵元で活躍している。